

教育委員会が考えている牧之原市学校再編計画
～概要版より抜粋



計画を知っている=賛成している・・・ではありません

- ・市民の認知度は56.3%でした。(22年度市民意識調査結果)
- ・計画を聞いたことがあっても、内容をどこまで知っているのか？賛成なのか、反対なのか、はわかりません。
- ・私たちが行った、ある地域でのシール投票では、もっと話し合うべきという方が90%を超えました。



学校施設は地域の拠点

- ・まちづくりの基本は、地域の住民が主体となって話し合うこと。
- ・学校再編の方向性を市は決めましたが、新しい学校づくりの検討は始まったばかりです。
- ・地域から学校がなくなることの影響を、地元地域で真剣に話し合ひましょう。

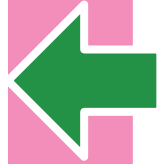


牧之原市に新しい学校が誕生

(仮称) 未来の子どものための新しい学校づくり計画(案)～学校再編計画～概要版



市立小学校8校を再編して
市立中学校2校を再編して
新たに2つの学校をつくりまます!



本当かな？

学校再編はいいことばかりなのでしょうか？
私たちは不安がいっぱいです

- ・地元の小学校がなくなることで地域が衰退するのではないかな？
 - ・大きな学校になり先生が目が行き届かないのではないかな？
 - ・いじめや不登校が増えるのではないかな？
 - ・スクールバスの運行に大きな費用が掛かるのではないかな？
 - ・スクールバスの時間が掛かり、危険はないのかな？
 - ・地域で友達がつくりにくくなるのではないかな？
 - ・地域の親のつながりがなくなってしまうのではないかな？
 - ・小中一貫校は5・6年生が(上級生として期待されなくなり)自信を失うのではないかな？
 - ・何年かすると教師の数が今までより減ってしまうのではないかな？
- これらの不安は、研究やデータを踏まえて、私たちが想定しているものを書き出しました—



新しい学校は義務教育学校

1 義務教育学校ってなに？

平成28年の学校教育法の改正で新しく設置することができるようになった学校の種類です。1から9年生までが1つになった9年間の学校です。

2 どんなことができるの？

- ・9年間、同じ方針で子どもを育てることができる。(子どもが中学校進学のと きにつまずきにくくなる)
- ・発達段階に応じた区切り(例: 4年、3年、2年など)をつくることができる。
- ・学校判断で特色ある教育課程を編成することができる。(通常は文部科学省の許可が必要。例: コミュニケーション科など)
- ・小学生に中学校の専科教員が教えることができる。(専門的な指導)
- ・幅広い年代の交流ができる。

3 いつできるの？

目標は、2030年!
教育効果が高い施設一体型の学校をつくりまます。

※牧之原市菊川市学校組合立牧之原小・中学校は再編対象外。